

GIA国際世論調査

「エンド・オブ・イヤーサーベイ2022： 2023年の見通し、景況感、幸福感」

35カ国・地域グローバル調査



調査結果



2023年1月30日
株式会社 日本リサーチセンター

◆「エンド・オブ・イヤーサーベイ」レポート

株式会社日本リサーチセンター（本社：東京都墨田区、代表取締役社長 杉原 領治）が加盟しているギャラップ・インターナショナル・アソシエーション（GIA）では、2022年10月から12月にかけて世界35の国と地域の人々を対象に国際世論調査「エンド・オブ・イヤーサーベイ」を実施しました。この度、本調査の中から2023年の見通し、景況感、幸福感についての調査結果がリリースされましたので、日本の時系列データを加えて日本版レポートを発表いたします。ご高覧いただければ幸いです。

注1：比率（％）は、各国の人口に比例した重みを付けて集計を行っています（ウエイト集計）

注2：比率（％）は、四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならないところもあります

注3：一部データを更新しているため、ギャラップ・インターナショナル・アソシエーション(GIA)のリリース版と数値が合致しないところもあります

注4：国・地域を一部「国」と略して表記しています

「エンド・オブ・イヤーサーベイ」は1977年にジョージ・ギャラップ氏により開始され、以降毎年、世界各国で実施しています（今回が46回目となります）。

◆ギャラップ・インターナショナル・アソシエーション(GIA)

1947年にジョージ・ギャラップ氏とヨーロッパの仲間によって設立され、現在はオーストリアに本部があります。現在世界のおよそ50カ国でメンバーを持ち、世界の多くの国で世論調査や市場調査を実施しています。
※なお、米国調査会社Gallup, Inc.とは関係ございません。

◆株式会社日本リサーチセンター（NRC）

1960年に設立された民間の調査研究機関です。

民間企業、官公庁からの受託調査・研究及び自主企画調査を国内外問わず実施しています。

ギャラップ・インターナショナル・アソシエーション(GIA)には日本で唯一の代表として1968年に加盟しました。

1) 2023年が2022年より「良くなる」は、35カ国・地域平均で31%、日本では22%

- 2023年が2022年より良くなるかどうか質問した結果は、日本では、「変わらない」と答えた割合が40%で最も多く、「良くなる」が22%、「悪くなる」が18%、「わからない」が20%。
- 35カ国・地域平均では、「悪くなる」と答えた割合が34%で最も多く、「良くなる」が31%、「変わらない」が27%、「わからない」が8%。
- 2023年が2022年より「良くなる」と「悪くなる」と答えた割合の差の大きい順に並べてみると、日本は、ルーマニア、スイスと同率で35カ国・地域中15位と中程度に楽観的。楽観的な上位3カ国は、ナイジェリア、パキスタン、カザフスタンの順。一方、悲観的な下位3カ国は、ポーランド、チェコ、セルビア。
- 日本の結果を時系列で比べてみると、2022年調査では、2021年調査と比較して「良くなる」の回答が13ポイント減、「悪くなる」の回答は11ポイント増。2022年調査では、「悪くなる」の回答がコロナ禍が始まった2020年と並び、2016年以降で最も高い水準。

2) 2023年が2022年より「景気が悪くなる」が、35カ国・地域平均も日本も最多。

- 自国の2023年の景気が2022年より良くなるかどうか質問したところ、35カ国・地域平均では「景気は悪くなる」が48%で最も多い。日本でも「景気が悪くなる」が43%で最も多い。
- 2023年が2022年より「良くなる」と「悪くなる」と答えた割合の差の大きい順に並べてみると、日本は35カ国・地域中18位。上位はナイジェリア、パキスタン、フィリピンの順。一方、下位3カ国は、ポーランド、セルビア、オーストリア。
- 日本の結果を時系列で比べてみると、2022年調査では、前回2021年調査の結果と比較して「景気は良くなる」は21ポイント減。一方、「景気は悪くなる」は28ポイント増加し、2016年、2017年の結果と比べても、高い比率となっている。

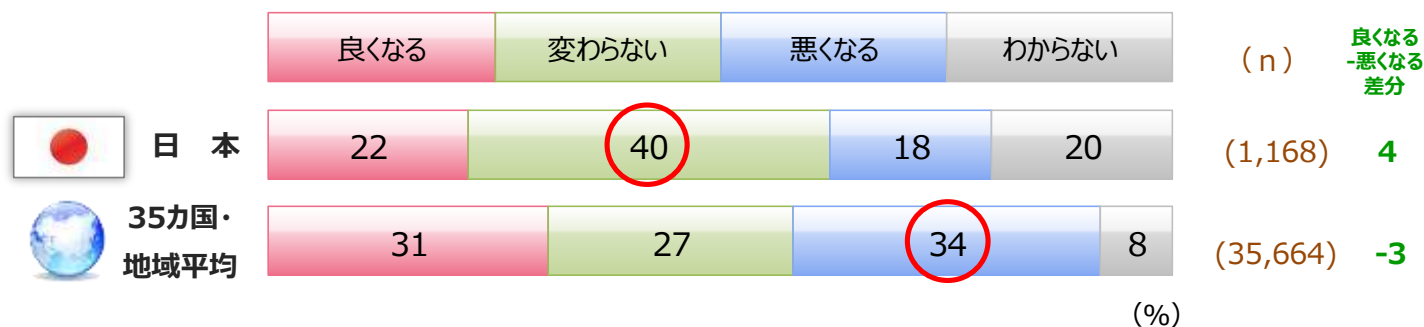
3) 自分の人生が『幸せ』（「とても幸せ」と「幸せ」の計）と感じる人は、35カ国・地域平均では54%、日本では60%

- 35カ国・地域平均では、『幸せ』と答えた割合は54%。日本では、『幸せ』と答えた割合は6割を超え、35カ国・地域平均よりも多い。また、『不幸せ』（「とても不幸せ」と「不幸せ」の計）と答えた割合は3%にとどまり、35カ国・地域平均と比較して少ない。
- 自分の人生が『幸せ』と『不幸せ』と答えた割合の差の大きい順に並べてみると、日本は35カ国・地域中4位。上位3カ国は、フィリピン、メキシコ、マレーシアの順。一方、下位3カ国・地域は、トルコ、モルドバ、アルゼンチン。
- 日本の結果を時系列で比べてみると、幸福感については、2022年の調査結果は、前回2021年の調査結果と比較して5ポイント減だが、6割は維持。コロナ禍が続く中、日本では個人の幸福感は、維持されている模様。

2023年が2022年より「良くなる」は、35カ国・地域平均で31%、日本では22%

- 2023年が2022年より良くなるかどうか質問した結果は、日本では、「変わらない」と答えた割合が40%で最も多く、「良くなる」が22%、「悪くなる」が18%、「わからない」が20%。
- 35カ国・地域平均では、「悪くなる」と答えた割合が34%で最も多く、「良くなる」が31%、「変わらない」が27%、「わからない」が8%。
- 35カ国・地域平均と比較すると、日本の回答は、「悪くなる」が16ポイント、「良くなる」が9ポイント少なく、「変わらない」が13ポイント、「わからない」が12ポイント多い。
- 「良くなる」と「悪くなる」の差は、35カ国・地域平均では「良くなる」が「悪くなる」を3ポイント下回るが、日本は「良くなる」が「悪くなる」を4ポイント上回る。

Q あなたご自身は、2023年は2022年より「良い年になる」、「悪い年になる」、「変わらない」のいずれだと思いますか。(単数回答)



- 2023年が2022年より「良くなる」と「悪くなる」と答えた割合の差の大きい順に並べると、上位3カ国は、ナイジェリア、パキスタン、カザフスタンの順。一方、下位3カ国は、ポーランド、チェコ、セルビアとなっている。
- 日本はルーマニア、スイスと同率で35カ国・地域中15位。35カ国・地域平均を7ポイント上回る。

■ 各国の「良くなる」-「悪くなる」の回答割合の差（差の大きい順に並べ替え）

1	ナイジェリア	66
2	パキスタン	40
3	カザフスタン	36
4	フィリピン	34
5	インド	32
6	メキシコ	31
7	ケニア	26
8	イラク	25
8	アゼルバイジャン	25
10	アフガニスタン	20
11	アルメニア	18
12	アメリカ	10

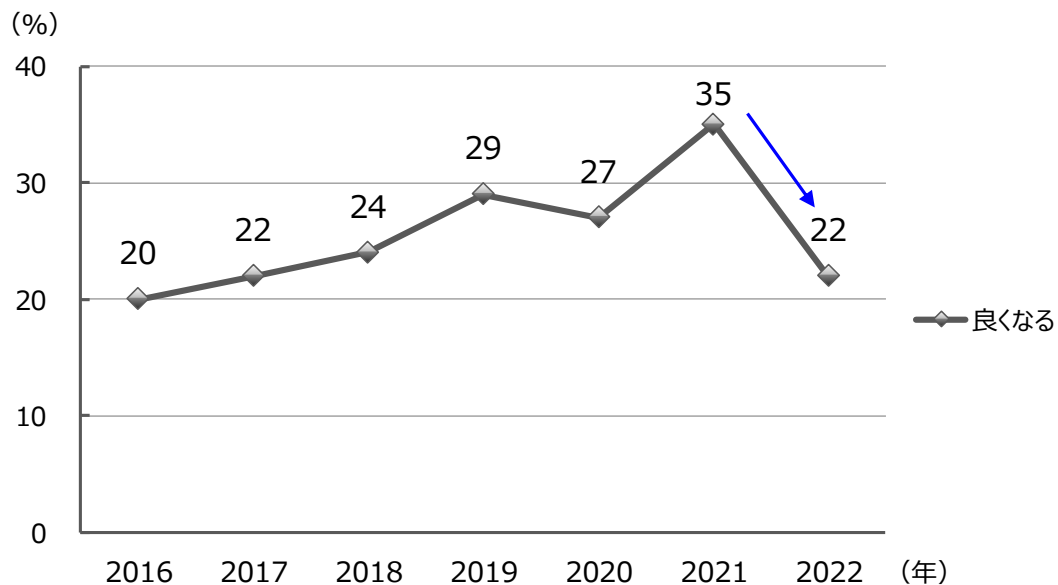
13	エクアドル	8
13	マレーシア	8
15	日本	4
15	ルーマニア	4
15	スイス	4
18	カナダ	0
35カ国・地域平均		-3
19	香港	-7
20	韓国	-8
21	ロシア	-14
21	アルゼンチン	-14
23	モルドバ	-18

24	ドイツ	-19
25	ボスニア・ヘルツェゴビナ	-23
25	トルコ	-23
27	ブルガリア	-24
28	北マケドニア	-30
29	オーストリア	-31
30	イギリス	-32
31	イタリア	-34
32	フランス	-44
33	セルビア	-48
34	チェコ	-50
35	ポーランド	-58

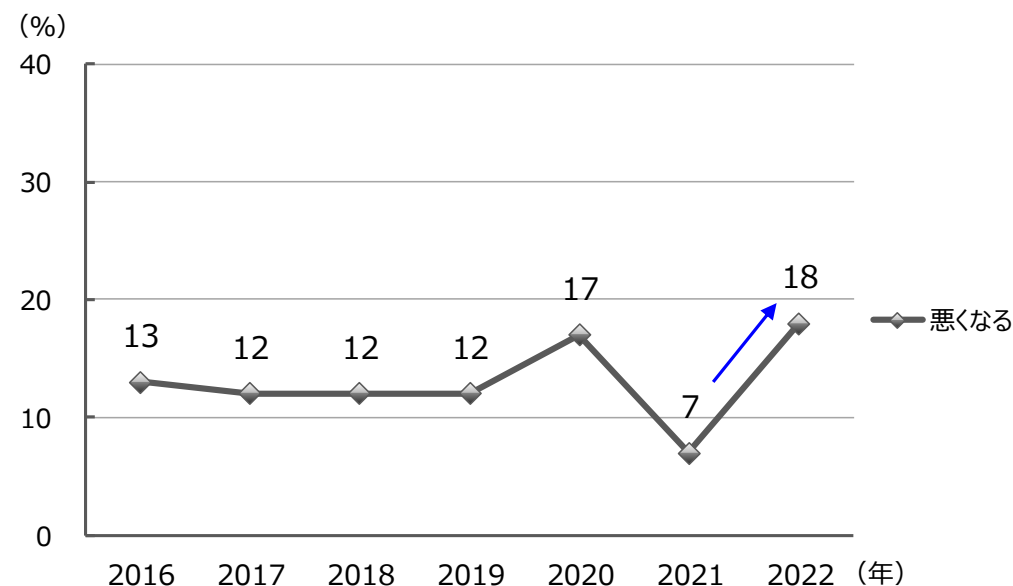
- 日本の結果を時系列で比べてみると、2022年調査では、2021年調査と比較して「良くなる」の回答が13ポイント減、「悪くなる」の回答は11ポイント増。
- 2022年調査では、「悪くなる」の回答がコロナ禍が始まった2020年と並び、2016年以降で最も高い水準。

Q あなたご自身は、2023年は2022年より「良い年になる」、「悪い年になる」、「変わらない」のいずれだと思いますか。(単数回答)

「良くなる」回答比率推移(日本)



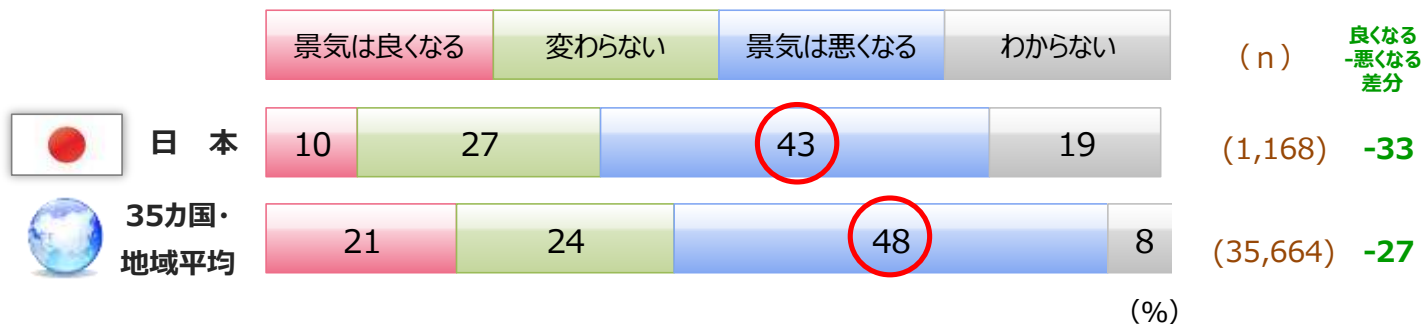
「悪くなる」回答比率推移(日本)



35カ国・地域平均も日本も、2023年が2022年より「景気が悪くなる」が最も多い。

- 自国の2023年の景気が2022年より良くなるかどうか質問したところ、35カ国・地域平均は「景気は悪くなる」が48%で5割近くと最も多い。
- 日本でも、「景気が悪くなる」が43%で最も多い。
- 35カ国・地域平均と比較すると、日本では「景気は良くなる」が少なく、「わからない」の割合が多い。
- 「良くなる」と「悪くなる」の差は、35カ国・地域平均では「良くなる」が「悪くなる」を27ポイント下回るが、日本は更に差が大きく、33ポイント下回る。

Q 日本（自分の国）では2022年に比べて、2023年の景気が「良くなる」、「悪くなる」、「変わらない」のいずれだと思いますか。（単数回答）



- 2023年が2022年より「景気が良くなる」と「景気は悪くなる」と答えた割合の差の大きい順に並べてみると、上位3カ国はナイジェリア、パキスタン、フィリピンの順。一方、下位3カ国は、ポーランド、セルビア、オーストリアとなっている。
- 日本は35カ国・地域中18位で、35カ国・地域平均を6ポイント下回る。

■ 各国の「景気は良くなる」-「景気は悪くなる」の回答割合の差（差の大きい順に並べ替え）

1	ナイジェリア	55
2	パキスタン	33
3	フィリピン	20
4	アゼルバイジャン	16
5	カザフスタン	15
6	ケニア	14
7	イラク	7
7	アルメニア	7
9	メキシコ	2
10	インド	1
11	アフガニスタン	0
12	エクアドル	-11

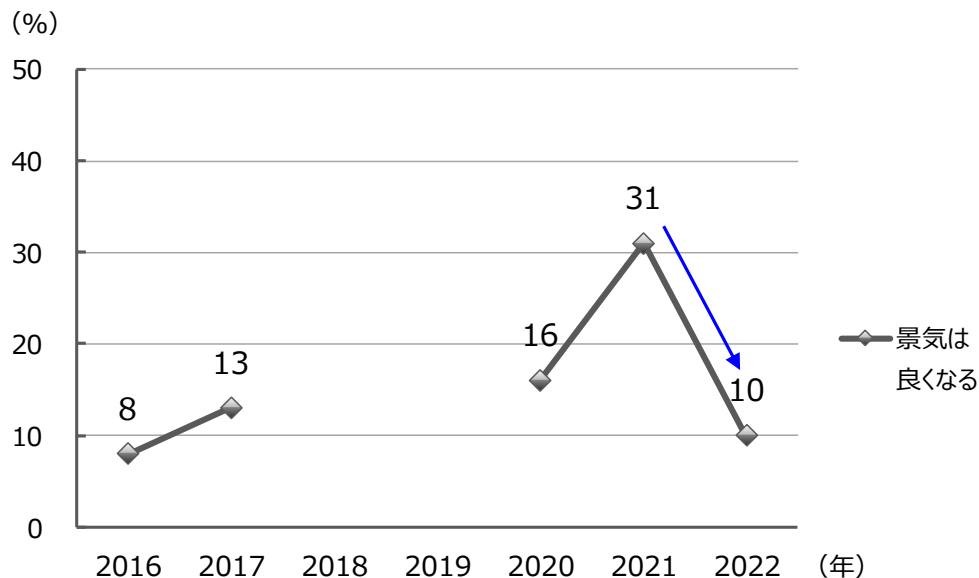
13	アメリカ	-26
35カ国・地域平均		-27
14	アルゼンチン	-31
14	マレーシア	-31
16	香港	-32
16	モルドバ	-32
18	日本	-33
19	ロシア	-34
20	スイス	-36
21	韓国	-40
22	ルーマニア	-43
23	トルコ	-44

24	北マケドニア	-45
25	カナダ	-48
26	フランス	-50
27	ブルガリア	-51
27	イタリア	-51
29	イギリス	-57
30	ドイツ	-64
31	チェコ	-65
32	ボスニア・ヘルツェゴビナ	-66
33	オーストリア	-67
33	セルビア	-67
35	ポーランド	-74

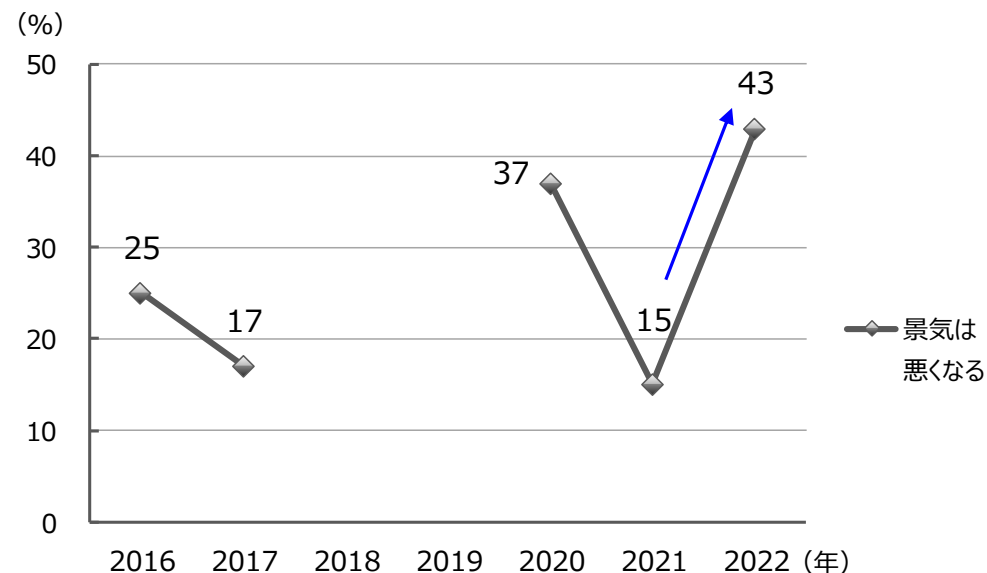
- 日本の結果を時系列で比べてみると、2022年調査では「景気は良くなる」は10%で、前回2021年調査の結果と比較して21ポイント減。
- 一方、2022年調査では「景気は悪くなる」は43%で、前回2021年の調査結果と比べ28ポイント増。2016年、2017年の結果と比べても、高い比率となっている。

Q 日本（自分の国）では2022年に比べて、2023年の景気が「良くなる」、「悪くなる」、「変わらない」のいずれだと思いますか。(単数回答)

「景気は良くなる」回答比率推移(日本)



「景気は悪くなる」回答比率推移(日本)

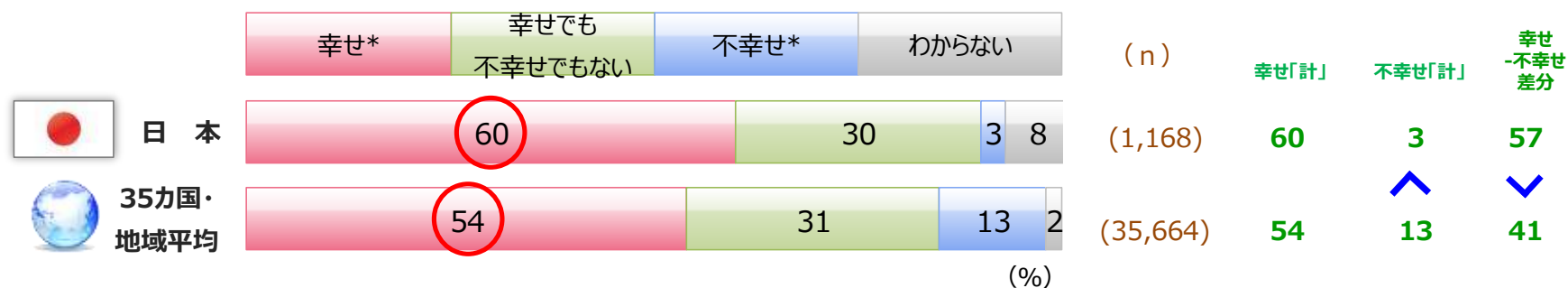


* 本設問は、2018年および2019年は非実施

自分の人生が『幸せ（計）』と感じる人は、35カ国・地域平均では54%、日本では60%

- 人生が幸せかどうか質問したところ、『幸せ』（「とても幸せ」と「幸せ」の計）と答えた割合は、35カ国・地域平均では54%。
- 日本では、『幸せ』と答えた割合は6割と、35カ国・地域平均よりも6ポイント多い。また、『不幸せ』（「とても不幸せ」と「不幸せ」の計）と答えた割合は3%にとどまる。
- 『幸せ』と『不幸せ』の差は、35カ国・地域平均では『幸せ』が『不幸せ』を41ポイント上回り、日本は57ポイントと大幅に上回る。

Q あなたの人生は、「とても幸せ」、「幸せ」、「幸せでも不幸せでもない」、「不幸せ」、「とても不幸せ」のいずれだと思いますか。（単数回答）



*『幸せ』：「とても幸せ」と「幸せ」の計
*『不幸せ』：「とても不幸せ」と「不幸せ」の計

- 『幸せ』（「とても幸せ」と「幸せ」の計）と『不幸せ』（「とても不幸せ」と「不幸せ」の計）と答えた割合の差の大きい順に並べてみると上位3カ国は、フィリピン、メキシコ、マレーシアの順。一方、下位3カ国・地域は、トルコ、モルドバ、アルゼンチン。
- 日本は、35カ国・地域中4位でアフガニスタン、エクアドルと同率。35カ国・地域平均を16ポイント上回る。

■各国の『幸せ』-『不幸せ』の回答割合の差（差の大きい順に並べ替え）

1	フィリピン	75
2	メキシコ	63
3	マレーシア	59
4	日本	57
4	アフガニスタン	57
4	エクアドル	57
7	カザフスタン	55
7	ナイジェリア	55
9	インド	54
10	スイス	51
11	アゼルバイジャン	50
12	パキスタン	48

13	韓国	46
35カ国・地域平均		41
14	オーストリア	38
14	アメリカ	38
16	ボスニア・ヘルツェゴビナ	37
17	北マケドニア	36
18	チェコ	35
18	ルーマニア	35
20	ドイツ	34
20	イタリア	34
22	ポーランド	33
23	ブルガリア	32

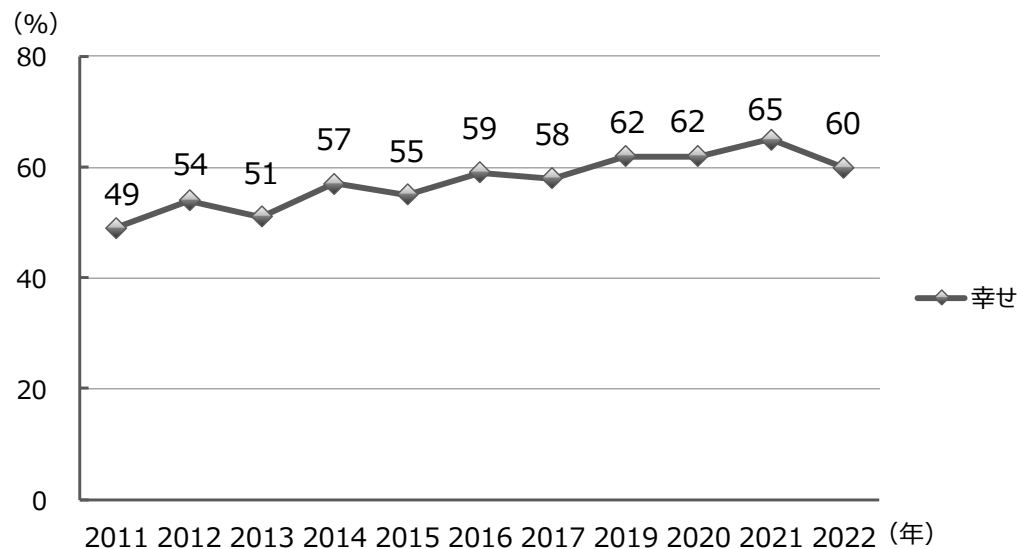
23	カナダ	32
23	イギリス	32
26	フランス	31
27	ロシア	30
28	イラク	28
29	セルビア	27
30	アルメニア	26
31	ケニア	25
32	香港	23
33	アルゼンチン	21
34	モルドバ	17
34	トルコ	17

*『幸せ』：「とても幸せ」と「幸せ」の計
 *『不幸せ』：「とても不幸せ」と「不幸せ」の計

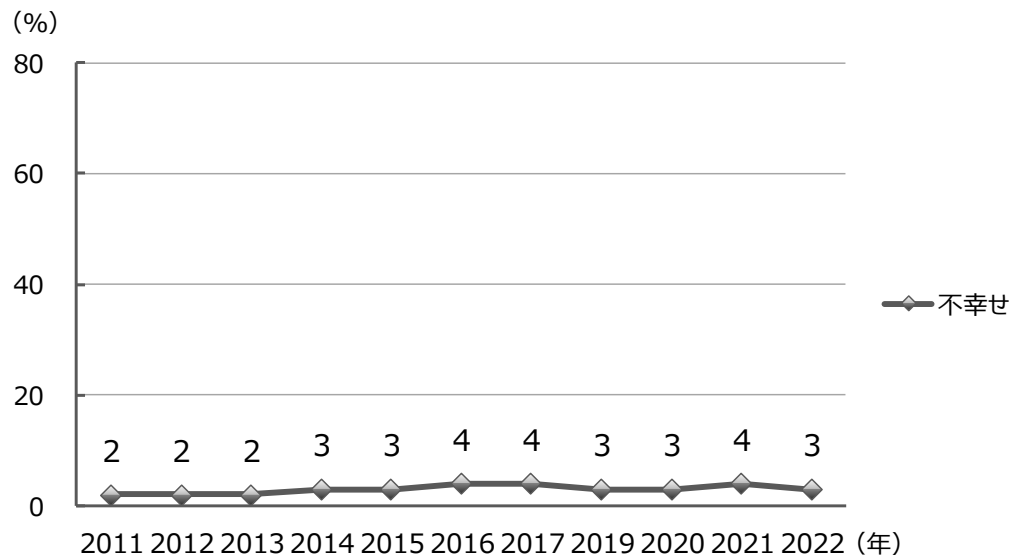
- 日本の結果を時系列で比べてみると、幸せ感については、2022年の調査結果は前回2021年の調査結果と比較して5ポイント減だが、6割は維持。
- コロナ禍が続く中、個人の幸福感は、維持されている模様。

Q あなたの人生は、「とても幸せ」、「幸せ」、「幸せでも不幸せでもない」、「不幸せ」、「とても不幸せ」のいずれだと思いますか。(単数回答)

「幸せ」回答比率推移(日本)



「不幸せ」回答比率推移(日本)



* 『幸せ』：「とても幸せ」と「幸せ」の計
 * 『不幸せ』：「とても不幸せ」と「不幸せ」の計
 * 本設問は、2018年は非実施

- 35カ国・地域の内訳と調査サンプルサイズは、以下の通り。
- 調査方法：訪問面接、訪問留置、電話、インターネット調査

地域	国・地域	サンプルサイズ
アジア	日本	1,168
	インド	1,004
	パキスタン	1,000
	フィリピン	1,001
	マレーシア	1,003
	韓国	1,549
	香港	501
北米	アメリカ合衆国	1,066
	カナダ	1,002
中南米	アルゼンチン	1,192
	エクアドル	620
	メキシコ	535
中東	アフガニスタン	2,279
	イラク	1,145
	トルコ	708

地域	国・地域	サンプルサイズ
欧州	アゼルバイジャン	500
	アルメニア	1,100
	イギリス	1,018
	イタリア	1,004
	オーストリア	1,000
	カザフスタン	1,000
	スイス	1,000
	セルビア	1,012
	チェコ	1,000
	ドイツ	1,000
	フランス	1,041
	ブルガリア	807
	ポーランド	1,010
	ボスニア・ヘルツェゴビナ	1,000
	モルドバ	1,030
	ルーマニア	500
	ロシア	1,650
	北マケドニア	1,202
	アフリカ	ケニア
ナイジェリア		1,003

35カ国・地域合計	35,664
-----------	--------

- 日本の調査仕様は、以下の通り。
 調査方法：調査員による個別訪問留置調査
 調査対象：全国の18～79才男女個人
 実施期間：2022年10月1日～10月13日

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先：(株) 日本リサーチセンター広報室

エンド・オブ・イヤーサーベイ2022 担当

メール：information@nrc.co.jp

本リリースの引用・掲載の際は、必ずクレジットを明記してください。

**調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に
「日本リサーチセンター／ギャラップ・インターナショナル・アソシエーション（GIA）調べ」
とクレジットを掲載してください。**